



会場地図



はっぴい
イースター



宝塚

日 時 2018年4月14日(土) 午後2:00

場 所 宝塚栄光教会 (宝塚市中州1-15-9)

講 演 野田 詠氏 師 入場無料
(アドラムキリスト教会牧師)

『イエスキリストが
もたらしてくれたもの』
～真実のバリアフリー～

どなたでもお気軽にご参加ください。

主 催：宝塚キリスト教会連合
<https://www.takarazuka-kiriren.com>
連絡先：0797-73-6076 (宝塚栄光教会)





私たちが死の恐れから解放し、天国の希望に溢れさせる...それがイースターです。



講師プロフィール



野田 詠氏 (のだ えいじ)

十代の一時期を少年院で過ごし、聖書と三浦綾子の小説『塩狩峠』を読み、在院中にクリスチャンとなる。出院後、洗礼を受け、生駒聖書学院にて学ぶ。卒業後、東大阪市にて、アドラムキリスト教会を開設。現在、NPO法人理事長、少年院の教誨師、教会の牧師として、特に青少年の自立更生や児童福祉の分野で社会課題の解決に

取り組む。活動の様子はNHK等のドキュメンタリーに取り上げられる。著書に『私を代わりに刑務所に入れてください』(いのちのことば社刊)がある。明石市更生支援・再犯防止等に関する条例検討会・委員。



【著書紹介】

「私を代わりに 刑務所に入れてください」

～非行少年から更生支援者へ～

ドラッグに溺れ、
ナイフを頼りに暴れ回った
武闘派暴走族のリーダーが
少年院で見いだした確かな光り

当日、会場でお求めいただけます！



「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」(聖書)

「野田詠氏君、君を中等長期少年院に送致する。」

裁判官は、まっすぐに顔を向け、悲しみでも喜びでもない目で、淡々と処分を言い渡した。

私は拳を固め、裁判官に突っかかってやろうと、とっさに考えたが、その裁判官の目が、なぜか私の思いをとどまらせた。

見下す眼でもなく、あわれみの眼でもなかった。どこか悲しげな…、でも、まっすぐな眼をしていた。

*

二度と帰らない青春を、一年間も獄の中で過ごさなければならない現実に、涙がこぼれた。

後ろにいた母は、泣きながら、こう叫んだ。

「私の育て方が悪かったんです。こ、この子を少年院に入れるんやったら、代わりに私を刑務所に入れてください。」

私は何が起こったかわからず、耳を疑った。続けざまに母は^{おえつ}嗚咽しながら、こう言った。

「わ、私が悪かったんです。私のせいでこの子はこうなったんです。…」

母のその言葉に、私は声を詰まらせて泣いた。泣き訴える母を、父が^{いさ}諫めた。

二月の終わりの、凍てつくほど寒い日だった。

*

(中略)

小さい頃は、雪が降ると大はしゃぎで外を駆け回った。こんな人生を送るつもりではなかった…。あまりの雪の白さに見とれながら、“これから俺の人生はどうなるんやろう？”と不安だけが心に積もった。

(野田詠氏著「私を代わりに刑務所に入れてください」(いのちのことば社)より引用)